



2023年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年5月12日

上場会社名 株式会社安江工務店 上場取引所 東・名
 コード番号 1439 URL https://www.yasue.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 賢治
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役執行役員 (氏名) 印田 昭彦 (TEL) 052-223-1100
 四半期報告書提出予定日 2023年5月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第1四半期の連結業績(2023年1月1日~2023年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第1四半期	1,555	4.1	39	65.2	40	39.5	22	44.8
2022年12月期第1四半期	1,493	△6.4	24	74.7	28	92.2	15	654.6

(注) 包括利益 2023年12月期第1四半期 21百万円(42.8%) 2022年12月期第1四半期 15百万円(537.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第1四半期	16.82	15.97
2022年12月期第1四半期	11.80	11.39

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第1四半期	4,388	1,622	35.7
2022年12月期	4,243	1,627	37.0

(参考) 自己資本 2023年12月期第1四半期 1,565百万円 2022年12月期 1,570百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2023年12月期	—	—	—	—	—
2023年12月期(予想)	—	0.00	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日~2023年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,457	7.9	29	398.9	27	91.6	3	—	2.79
通期	7,436	5.5	242	7.0	239	3.1	136	1.0	103.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年12月期1Q	1,350,760株	2022年12月期	1,340,060株
② 期末自己株式数	2023年12月期1Q	28,584株	2022年12月期	28,584株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年12月期1Q	1,316,686株	2022年12月期1Q	1,295,516株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う行動制限が解除され、社会経済活動の正常化が進み、緩やかな回復基調がみられる一方、円安やロシア・ウクライナ情勢の長期化等による物価の高騰や世界的な金融引き締めによる金融資本市場の変動など、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

住宅業界におきましては、こどもエコすまい支援事業等の政府による後押しがあるものの、円安や資源価格の高騰を受けた木材・住宅設備機器等の値上げによる消費マインドの低下、設計職・施工監理職など専門職技術者の人材不足など、依然として厳しい状況となっております。

このような環境下で、当社グループは「すべてのお客様に安らぐ『住まい』を提供し、一生涯のおつきあいをする」ことをミッションに掲げ、お客様にとって価値あるサービスが提供できるよう、住宅に関するニーズにワンストップで応え、すべての相談に乗ることができる利便性の高い体制の構築に努めてまいりました。

また、2021年2月に策定した中期経営計画の3つの基本方針「競争力強化」「成長拡大戦略」「環境変化への対応力強化」に基づき、2030年に売上高300億円達成を目標とする長期ビジョン「Vision 2030 forward 300」の実現に向けて、グループブランド「r-cove* (アール・コープ)」の強化・浸透を図り、グループ間のシナジーを最大限に発揮してグループ全体で収益拡大に取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、新築住宅事業において前期からの繰越受注棟数の減少により前年同期比で減収減益となったものの、主力の住宅リフォーム事業においてリフォーム相談会での集客が堅調であったことに加え、テレビCM・YouTubeなどのSNSを活用した新たな広告戦略の効果もあり、前年同期比で増収増益となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は1,555百万円（前年同期比4.1%増）、営業利益は39百万円（前年同期比65.2%増）、経常利益は40百万円（前年同期比39.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は22百万円（前年同期比44.8%増）となりました。

セグメントの業績は、以下の通りであります。

(住宅リフォーム事業)

住宅リフォーム事業におきましては、建築士などの資格を有するデザイナーによる機能性・デザイン性の高いリフォームを提供するとともに、屋根・外壁塗装等の外装や玄関アプローチ・カーポート等のエクステリアに特化した専門部署において、専門性の高いノウハウを活かした提案を行うなど、安定的な営業活動を展開してまいりました。加えて、当社リフォーム店舗に併設している子会社のインテリア販売拠点を活用し、住宅リフォームに家具やカーテンをセットでコーディネートするなど、グループ内のシナジーを活かしてお客様満足度の向上に努めてまいりました。

また、オリジナル建材の「無添加厚塗りしっくい®」やお客様が在宅したまま1日で施工可能な光触媒コーティング「ナノ抗菌R*コート」など、抗ウイルス効果のある建材を使用したリフォームの提案を積極的に行い、新たな需要の取り込みにも注力してまいりました。

当第1四半期連結累計期間における当事業の業績につきましては、外装やエクステリアなどの専門性の高い工事の受注が好調に推移したことに加え、政府による各種補助金事業の後押しもあったことから、売上高は1,349百万円（前年同期比12.4%増）、セグメント利益は46百万円（前年同期比88.4%増）となりました。

(新築住宅事業)

新築住宅事業におきましては、オリジナル建材である「無添加厚塗りしっくい®」や、無垢の木材、薩摩中霧島壁などの自然素材を活かし、デザイン性や機能性を高めた4つの注文住宅ラインナップを揃えており、お客様のニーズに合わせた提案を行うとともに他社との差別化に注力してまいりました。また、打合せや完成見学会・構造見学会においてオンラインの活用を促進するなど、営業活動の効率化にも取り組んでまいりました。

当第1四半期連結累計期間における当事業の業績につきましては、木材・住宅設備機器等の値上げに伴う消費マインドの低下が続いており、前年同期に比べ前期からの繰越受注棟数が少なかったことから、売上高は47百万円（前年同期比72.4%減）となり、セグメント損失は30百万円（前年同期はセグメント利益1百万円）となりました。

(不動産流通事業)

不動産流通事業におきましては、地域密着型の強みを活かして良質な小規模分譲地の仕入れに注力し、自社での新築注文住宅や新築分譲住宅用地として活用するなど、事業間のシナジーを発揮してまいりました。また、買

取再販物件に当社グループの強みであるリノベーション・デザインリフォームをコーディネートしてお客様に提案するなど、資産価値の創造・魅力ある住まいづくりを積極的に推進してまいりました。

当第1四半期連結累計期間における当事業の業績につきましては、不動産仲介時に提案するリフォーム工事の受注が堅調であったことから、売上高は158百万円（前年同期比31.5%増）、セグメント利益は23百万円（前年同期はセグメント損失2百万円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は3,016百万円となり、前連結会計年度末に比べ157百万円増加いたしました。これは主に、現金預金が35百万円、未成工事支出金等が44百万円、販売用不動産が89百万円増加したこと等によるものであります。固定資産は1,371百万円となり、前連結会計年度末に比べ12百万円減少いたしました。これは主に、のれんが12百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は4,388百万円となり、前連結会計年度末に比べ145百万円増加いたしました。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は1,985百万円となり、前連結会計年度末に比べ265百万円増加いたしました。これは主に、未払金が34百万円、未払法人税等が36百万円減少したものの、短期借入金が200百万円、未成工事受入金が132百万円増加したこと等によるものであります。固定負債は779百万円となり、前連結会計年度末に比べ115百万円減少いたしました。これは主に、長期借入金が115百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は2,765百万円となり、前連結会計年度末に比べ150百万円増加いたしました。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は1,622百万円となり、前連結会計年度末に比べ4百万円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益22百万円の計上、新株予約権の行使により資本金及び資本準備金がそれぞれ6百万円増加したものの、配当金の支払いにより39百万円減少したこと等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期の連結業績予想につきましては、2023年2月10日に「2022年12月期 決算短信」にて公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	1,240,739	1,275,896
完成工事未収入金	208,644	222,144
売掛金	48,340	40,530
未成工事支出金等	143,449	187,664
販売用不動産	1,168,059	1,257,478
材料貯蔵品	13,973	13,599
その他	35,935	19,503
貸倒引当金	△283	△283
流動資産合計	2,858,858	3,016,533
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	392,398	389,675
土地	627,924	627,924
建設仮勘定	3,637	579
その他(純額)	37,854	40,115
有形固定資産合計	1,061,815	1,058,294
無形固定資産		
のれん	156,806	144,291
ソフトウェア	15,524	14,207
その他	2,067	2,067
無形固定資産合計	174,398	160,567
投資その他の資産		
投資有価証券	4,265	4,018
繰延税金資産	69,246	74,320
その他	74,531	74,523
投資その他の資産合計	148,043	152,862
固定資産合計	1,384,257	1,371,724
資産合計	4,243,116	4,388,258

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
工事未払金	463,950	446,612
買掛金	25,170	21,380
短期借入金	—	200,000
1年内返済予定の長期借入金	465,759	463,396
未払金	111,986	77,906
未払法人税等	60,924	24,788
未成工事受入金	394,279	527,176
賞与引当金	58,928	91,792
完成工事補償引当金	31,806	31,745
その他	107,394	101,036
流動負債合計	1,720,202	1,985,834
固定負債		
長期借入金	876,083	760,387
その他	19,071	19,240
固定負債合計	895,154	779,627
負債合計	2,615,356	2,765,461
純資産の部		
株主資本		
資本金	256,858	263,080
資本剰余金	246,187	252,409
利益剰余金	1,095,916	1,078,714
自己株式	△28,293	△28,293
株主資本合計	1,570,668	1,565,910
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△340	△511
その他の包括利益累計額合計	△340	△511
新株予約権	57,431	57,397
純資産合計	1,627,759	1,622,796
負債純資産合計	4,243,116	4,388,258

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年1月1日 至2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年3月31日)
売上高	1,493,857	1,555,779
売上原価	1,004,153	1,035,232
売上総利益	489,703	520,547
販売費及び一般管理費	465,638	480,798
営業利益	24,065	39,748
営業外収益		
受取利息及び配当金	11	8
売電収入	345	357
補助金収入	4,860	570
その他	848	906
営業外収益合計	6,066	1,841
営業外費用		
支払利息	945	586
売電費用	158	276
支払手数料	117	340
その他	0	72
営業外費用合計	1,221	1,276
経常利益	28,909	40,314
特別利益		
固定資産売却益	—	18
新株予約権戻入益	32	—
特別利益合計	32	18
特別損失		
固定資産売却損	880	—
特別損失合計	880	—
税金等調整前四半期純利益	28,062	40,332
法人税、住民税及び事業税	24,966	23,189
法人税等調整額	△12,194	△4,998
法人税等合計	12,772	18,191
四半期純利益	15,290	22,141
親会社株主に帰属する四半期純利益	15,290	22,141

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
四半期純利益	15,290	22,141
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	94	△170
その他の包括利益合計	94	△170
四半期包括利益	15,385	21,971
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	15,385	21,971

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報ならびに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	合計
	住宅リフォーム 事業	新築住宅事業	不動産流通 事業	計		
売上高						
顧客との契約から生 じる収益	1,200,431	173,075	110,568	1,484,076	—	1,484,076
その他の収益	—	—	9,780	9,780	—	9,780
外部顧客への売上高	1,200,431	173,075	120,349	1,493,857	—	1,493,857
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,232	—	—	3,232	△3,232	—
計	1,203,664	173,075	120,349	1,497,089	△3,232	1,493,857
セグメント利益又は損 失(△)	24,848	1,860	△2,644	24,065	—	24,065

(注) 1. 売上高の調整額△3,232千円は、セグメント間の取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の金額の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報ならびに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	合計
	住宅リフォーム 事業	新築住宅事業	不動産流通 事業	計		
売上高						
顧客との契約から生 じる収益	1,349,628	47,838	147,154	1,544,622	—	1,544,622
その他の収益	—	—	11,157	11,157	—	11,157
外部顧客への売上高	1,349,628	47,838	158,312	1,555,779	—	1,555,779
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	29	—	29	△29	—
計	1,349,628	47,868	158,312	1,555,809	△29	1,555,779
セグメント利益又は損 失(△)	46,812	△30,215	23,152	39,748	—	39,748

(注) 1. 売上高の調整額△29千円は、セグメント間の取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の金額の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。